



9/4 じいじ、ばあば、ありがとう



▲切手を貼ったばかりの封筒を投函する児童

東部幼稚園年長児が御厨郵便局で、日頃かわいがってもらっている祖父母へ感謝の気持ちを伝えるため、友達と撮った写真や祖父母の絵などを同封した手紙を投函しました。

園児たちは窓口で自分のお金で切手を買って、用意した封筒に貼り投函するまでの一連の流れを経験しました。封筒を投函すると「おじいちゃんおばあちゃんに届くと嬉しいな」と話していました。

9/1 チケット使って「バイ・イワタ」



▲取扱店ステッカーのある店舗で使用できます

新型コロナウイルス感染症により疲弊している地域経済の活性化を目的としたプレミアム商品券『いわた応援チケット』の使用が始まりました。

応援チケットは今年12月31日まで、取扱店登録済の専用ステッカーが貼ってある市内約1,200店で使用できます。取扱店の最新情報は磐田商工会議所ホームページ内の専用ページで公開しています。



▲専用ページ

9/7 公園の歩道橋整備に部材を提供



▲覚書を交わす市長とヤマハ発動機の日高社長

整備を進めている今之浦公園と今之浦市有地について、公園内の歩道橋の床版部材をヤマハ発動機㈱から無償提供していただくことになりました。提供に当たり日高社長が来庁し、覚書が締結されました。

渡部市長は「このような申し入れは公費縮減だけではなく、その気持ちがとてもうれしい」と話し、日高社長は「当社のFRP素材で地域に貢献できる機会をいただきありがとうございます」と話しました。

9/1 災害対策本部もコロナ対策



▲フェイスシールドを着用し訓練する職員

南海トラフ巨大地震などによる大規模災害の発生を想定し、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた総合防災訓練が磐田市役所で実施されました。

本年度は、大規模災害発生時の災害対策本部運営の訓練として、本部指令訓練、情報収集伝達訓練、ドローン撮影訓練が行われました。なお、新型コロナウイルス感染症対策として、職員は手指消毒やフェイスシールドを着用し訓練に臨みました。



9/17 安心！安全！図書消毒機導入



▲借りた本を図書消毒機で消毒する来館者

磐田市立図書館4館とひと・ほんの庭 にこっとでは、新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中で、来館者が安心して図書館を利用できるように、図書の表紙と内部の殺菌・消毒が可能な図書消毒機を導入しました。

実際に利用した上村カウアンさんは「安心して図書館の本を借りることができて嬉しいです」と話しました。

9/9 プログラミングって楽しい



▲自分なりの発想で自由にプログラミングする児童たち

市は令和3年度末までに市立小中学校の全児童生徒に「1人1台端末」を整備し、「GIGAスクール構想」の実現を進めています。端末の整備を前に富士見小学校では、端末を使った公開授業が行われ、静岡県教育委員会の職員や教員たちが見学しました。

5年生の佐野誠哉さんは「サッカーをやっているのので、プログラミングでボールの回転数とカーブの曲がり方の関係などを調べてみたい」と話しました。

9/20 大きくなあれ！ウミガメさん



▲海に向かってウミガメを放流しました

福田地区地域づくり協議会連絡会は、地域の子どものための生き物を慈しむ心と、福田の財産である浜をいつまでも大切にすることを育むため、遠州灘海岸に産み落とされたウミガメの放流と海岸清掃を行いました。

親子で参加した福田小学校3年の中村悠愛さんは「ウミガメがかわいかった。ウミガメのためにもみんなできれいな浜にしたいです」と話しました。

9/10 "藁にもすがる"藁を作ろう



▲すがりの藁づくりのため藁を編む生徒たち

城山中学校では、今年の見付天神裸祭の鬼踊りが中止となったことから、毎年行っている「腰みのづくり」に代わり「すがりの藁づくり」が行われました。「すがりの藁」は「藁にもすがる」思いになることがないように玄関などに吊すものです。

1年生の大塚笑さんは「裸祭が中止になって寂しかったけど、すがりの藁を作ってみて楽しかった」と話しました。